

MVA

むさしの歩こう会

第069号

2026年4月1日

☎180-0006

東京都武蔵野市中町2-21-15

発行責任者 近藤 和義

TEL. 0422-53-5252

FAX. 0422-52-8100

2026年度 ウォーク事業計画

(2026年4月～2027年3月)

番号	月 日	種 別	事 業 名	集合駅・場所	解散駅・場所	距離
1	4月11日(土)	第203回定例	野川緑道散策 殿ヶ谷戸庭園	国分寺駅	国立天文台	9km
2	4月18日(土)	70回カルチャー	小松川境川親水公園から亀戸天神社の藤まつり	新小岩駅	錦糸町駅	8km
3	5月16日(土)	71回カルチャー	大宮盆栽村から民族博物館見学	土呂駅	大宮駅	6km
4	5月30日(土)	1回シリーズW	のらくろ館から 清澄庭園 と門前仲町	両国駅	深川公園	7km
5	6月13日(土)	第204回定例	DNP 市ヶ谷の杜 本と活字館&靖国神社・遊就館見学	四ツ谷駅	東京駅	9km
6	6月27日(土)	総会ウォーク	総会ウォークと2025年度通常総会	花小金井駅	西久保コミセン	7km
7	7月09日(木)	72回カルチャー	大谷資料館&BBQ	新宿駅西口	新宿駅西口	3km
8	9月19日(土)	2回シリーズW	向島百花園 の萩まつりと浅草散策	東向島駅	浅草駅	7km
9	9月26日(土)	第205回定例	四季の森公園から里山ガーデン	中山駅	中山駅	9km
10	10月10日(土)	第206回定例	水辺の手賀沼周遊	我孫子駅	我孫子駅	7km
11	10月24日(土)	第207回定例	川崎から旧東海道・川崎大師	川崎駅	川崎大師駅	9km
12	11月07日(土)	73回カルチャー	焼き芋フェスタ	阿佐ヶ谷駅	中野駅	6km
13	11月28日(土)	3回シリーズW	旧古河庭園 から 六義園 と小石川植物園	王子駅	白山駅	7km
14	12月05日(土)	第208回定例	若洲海浜公園から海の森公園	新木場駅	東京テレポーター駅	10km
15	12月19日(土)	74回カルチャー	神田川地下貯水施設見学と神田川	方南町駅	高井戸駅	6km
16	1月06日(水)	第209回定例	日本橋七福神とべらぼう遺跡めぐり	人形町駅	小伝馬町駅	5km
17	1月23日(土)	第210回定例	用賀から大山街道・溝の口散策	用賀駅	溝の口駅	8km
18	2月20日(土)	4回シリーズW	旧岩崎庭園 から湯島天神と 小石川後樂園 の梅まつり	上野駅	飯田橋駅	8km
19	3月06日(土)	5回シリーズW	旧芝離宮恩賜公園 から 浜離宮恩賜公園 の菜の花と梅鑑賞	浜松町駅	築地市場駅	4km
20	3月27日(土)	第211回定例	国立の大学通りから根川緑道の桜	国立駅	立川駅	8km

注) 例会ウォークの日程・集合駅・解散駅・歩行距離は変更させていただく場合があります。

当会の例会案内 および 日本ウォーキング協会の「ウォーキングライフ」等でご確認ください。

2026年度ウォーク事業のポイント：

今年の目玉は、地下採掘場跡の年間平均気温8°C前後の「大谷資料館」バスウォークです。夏場7月9日に実施いたします。

例会ウォークは、殿ヶ谷戸庭園からスタートする野川緑道散策、DNP市ヶ谷の杜から靖国神社・遊就館見学、横浜四季の森公園から里山ガーデン、風光明媚な千葉県・手賀沼散策、川崎大師参拝、令和7年3月28日オープンした海の森公園、新春は日本橋七福神とべらぼうの遺跡めぐり、大山街道散策、2024年度降雨のため中断となった国立の大学通りと根川緑道の桜ウォーク、を取り入れました。

カルチャーウォークは、江戸川区の小松川境川親水公園から亀戸天神社の藤まつり、大宮盆栽村から鉄道博物館見学、中野区焼き芋フェスタ2026、昨年度工事中で中止となった神田川地下貯水施設見学、を企画しました。

シリーズウォークは、『庭園』をテーマとし、2026年度は9つすべての都立庭園をまわります。清澄庭園の花菖蒲、向島百花園の萩まつり、旧古河庭園から六義園・小石川植物園のいろはもみじ、湯島天神・小石川後樂園の梅まつり、旧芝離宮恩賜庭園から浜離宮恩賜庭園の菜の花・梅鑑賞、を全5回に分けて開催します。

送電線の不思議

理事長 近藤 和義

皆様こんにちは。皆様は送電線を意識したことがございますか？「送電線」発電所から変電所へ電気を送っている線のことです。この線がなければ皆さんのところへ電気は来ません。

そこでなぜ不思議かと申すと、どうやって道もない山の中に鉄塔を立てるのか。電線はどのように張るのだろうと考えると夜も眠れなくなりませんか？

水力発電所は必ず山の中、それも相当山奥にあります。そこで発電された電気を山の中に鉄塔を立て、電線を張り、わたしたちのところに電気を運んできます。

送電線鉄塔は重い電線を支えるため基礎工事が重要です。前述いたしましたように、山の中、しかも斜面、重機を入れるのも一苦勞。最も昔は全部手掘りだったようです。塔の高さで最大は200mもあります。

張られる電線は1mあたりの重さ約6kg、一線三本組を少なくして2線、多いと7線を張ります。それも最低200m間隔、最大2000m。

簡単に計算すると $6 \times 3 \times 2 \times 200 = 7,200$ kgとなります。これは2線の場合です。

この重量に張力とモーメントが働くため鉄塔は猛烈に丈夫にしなければなりません。スカイツリーと同規模みたいです。施工は山の中、重機の搬入も難しければ材料もしかりです。

では電線の張り方は？ 初めにガイドロープを張り、電線につなげ先方の鉄塔に設置した巻き上げ機で張っていくのです。ガイドロープ張は、今はヘリコプターが多いようですが、一時代前は人間が山を越え、谷を渡るなどして次の鉄塔まで行きました。先人の苦勞が快適な私たちの生活の源です。

私たちが例会等で歩行を進める際、送電線の下を通ることもあります。その時は電気の来る事が当たり前ではないことを考え、作業者に感謝の気持ちを持ちましょう。

土木屋のたわごとでした。

例会案内

※詳細内容につきましては、毎月お送りしております「例会案内」をご覧ください。

第203回定例ウォーク 野川緑道散策

殿ヶ谷戸庭園から野川公園・国立天文台まで

開催日時 2026年4月11日(土) 午前9時集合

集合場所 JR中央線 国分寺駅 南口広場

解散場所 国立天文台 午後2時頃

歩行距離 約9km

歩行コース JR国分寺駅南口広場/スタート→殿ヶ谷戸庭園/見学→野川(殿ヶ谷戸橋)→弁天橋→貫井新橋→新小金井街道→滄浪泉園/見学→遊歩道南6号→野川→都住前原3丁目アパート→前原小→前原小入り口→新前橋→天神橋(シダレサクラ)→小金井新橋→武蔵野公園/WC→二枚橋/WC→桜橋→中之橋→野川公園/昼食→龍源寺/近藤勇の墓→野川→武蔵野の水車→飛橋→東大馬術場→八幡橋→国立天文台/ゴール

*2026年度最初のウォークは、武蔵野の自然を残す快適な野川緑道散策です。

野川は、JR中央線国分寺駅の西に位置する日立製作所日立中央研究所庭園内の遊水地を水源とし、国分寺崖線に沿うように東南に国分寺、小金井、三鷹、調布、狛江の各市を縫うようにして二子玉川で多摩川に流れ込む、総延長20.5キロの一級河川です。左岸には **なだらかな** 丘陵が続き、右岸には低湿地の自然を残した武蔵野公園、ゴルフ場を公園として開放した野川公園などがあります。野川沿いの道は、豊かな自然に恵まれた快適な散策路です。

殿ヶ谷戸庭園は、大正2～4年に江口定條(後の満鉄副総裁)の別荘として整備され、昭和4年に三菱財閥の岩崎家の別邸となり、昭和49年に東京都が買収開園した。平成23年に国の名勝に指定されました。武蔵野の自然の地形、段丘の崖にできた谷を巧みに利用した「回遊式林泉庭園」であり、崖の上の明るい芝生地と崖下の湧水他、樹林で雰囲気が一変する造園手法が特徴です。秋には美しい紅葉が見られる「紅葉亭」や湧水による「次郎弁天池」などがあります。



また、野川沿いの天神橋から小金井新橋600mに咲く約100本のシダレサクラの景観も今回の見どころの一つで皆様方に感動を与えてくれるでしょう。

(文：元木 満生)



第70回カルチャーウォーク

小松川境川親水公園から亀戸天神社の藤まつり

開催日時 2026年4月18日(土) 午前9時集合
 集合場所 JR総武線 新小岩駅 南口駅前広場
 解散場所 JR総武線 錦糸町駅 13時30分頃
 歩行距離 約8km
 歩行コース 新小岩駅 南口駅前広場(スタート)～ルミエール商店街～平和通り～小松川境川親水公園～東小松川公園(WC)～小松川橋(中川・荒川)～中川新橋(旧中川・WC)～亀戸九丁目緑道公園～亀戸中央公園(昼食休憩・WC)～亀戸天神社/藤まつり(WC)～錦糸町駅(ゴール)

*今回のウォークは江戸川区の小松川境川親水公園から藤まつり開催中の江東区：亀戸天神社を巡ります。

『小松川境川親水公園』は江戸川区で2番目にできた親水公園です。昭和57年から順次開園され、菅原橋から中川まで全長3,930mをほこる風光明媚な親水公園です。今回はこのうち、江戸川高校前から中川までのコースを歩きます。

亀戸天神社は菅原道真公をお祀りし下町の天神さまとして広く知れわたり、多くの方々に親しまれております。正保三年(1646年)九州太宰府天満宮の神官でありました菅原大鳥居信祐公(道真公の末裔・亀戸天神社初代別当)は神のお告げにより、公ゆかりの飛び梅の枝で天神像を刻み、天神信仰を広めるため社殿建立の志をもって、江戸の本所亀戸村にたどり着かれ、村に元々ありました天神の小さなほこらにご神像をお祀りいたしました。当時徳川幕府は、本所の町を江戸の大半を焼き尽くした明暦大火の被害による復興開発事業の土地とさだめ、天神様を篤く信仰していた四代将軍 家綱公はその鎮守の神様としてお祀りするように現在の社地を寄進されました。

新小岩駅をスタート。駅南口から全長約420mにわたってさまざまな商店が軒を連ねるルミエール商店街を通り、平和橋通りから江戸川高校前より小松川境川親水公園に入ります。東小松川公園で小休憩(WC)。

中川・荒川と2つの川に架かる眺望のよい小松川橋(京葉道路)を渡ります。約700m京葉道路を進み、旧中川手前で小休憩(WC)。旧中川沿いの眺めのよい亀戸九丁目緑道公園を進むと亀戸中央公園に到着、昼食休憩。

蔵前橋通りを約1.5km進むと藤まつりが開催されている亀戸天神社です。

(文：小松 巧)



第71回カルチャーウォーク

大宮盆栽村から県立民族博物館見学

開催日時 2026年5月16日(土) 午前9時集合
 集合場所 JR宇都宮線 土呂駅 東口駅前広場
 解散場所 JR大宮駅東口 12時30分頃
 歩行距離 約5km
 歩行コース 土呂駅・東口駅前広場 /スタート→大宮盆栽村(大宮盆栽美術館/見学)→県立大宮公園→埼玉県立・歴史と民俗博物館/見学→武蔵一宮氷川神社→氷川参道(約2km)→大宮駅東口/ゴール

* 大宮盆栽村とは、東武野田線とJR宇都宮線に囲まれた大宮公園北側一帯の総称です。1923年(大正12年)の関東大震災で被災した東京小石川周辺の盆栽業者が、良質な土と水を求めて当時「源太郎山」と呼ばれていたこの地に集団で移住して形成された地区である。1925年には自治共同体として大宮盆栽村が生まれました。



埼玉市における盆栽文化は世界的に知られる盆栽の聖地です。6つの盆栽園が点在する閑静な住宅街で世界初の公立「さいたま市大宮盆栽美術館」もあり、2025年に100周年を迎えました。

今回のカルチャーウォークはその「大宮盆栽美術館」見学から始まります。「大宮盆栽美術館」の見どころは、名品盆栽約100点や歴史的な資料を展示し四季折々の盆栽庭園や床の間に飾られた「盆栽」を鑑賞できるスポットです。

次に埼玉県立「歴史と民俗の博物館」の見学です。ここでは「埼玉における人々のくらしと文化」をテーマに、旧石器時代から現在までの暮らしを展示紹介し、2階にはミュージアムショップ、無料体験コーナーなどもあります。

見学後は、大宮公園に隣接する武蔵一宮氷川神社に立ち寄ります。2400年以上の歴史をもつ全国280社の氷川神社の総本社で「大いなる宮居」と称され「大宮」という地名にもなった日本でも指折りの古社です。

お詣り後は約2kmに及ぶ日本一長いケヤキ並木の荘厳な氷川参道を歩きゴールの大宮駅東口に向かいます。

◎今回、昼食休憩はありません。

(文：須藤 昭枝)

第1回シリーズウォーク

のらくろ館から清澄庭園の花菖蒲と門前仲町

開催日時 2026年5月30日(土) 午前9時集合
 集合場所 JR総武線 両国駅 西口広場
 解散場所 深川公園(最寄り駅：東西線・大江戸線 門前仲町駅) 午後1時30分頃
 歩行距離 約7km
 歩行コース 両国駅西口広場(スタート)～回向院～隅

田川リバーサイド～萬年橋北～のらくろ～森下文化センター(WC)～森下四～東深川橋～西深川橋～深川江戸資料館(WC)～清澄庭園(WC)～清澄公園(昼食)～清澄橋～木更木橋北～富岡八幡宮～深川不動堂～深川公園(ゴール)

*今回のウォークは2026年度シリーズ第1回です。都立庭園を巡ります。

最初に予定していたコースとは逆のコースを巡ります。相撲に始まり相撲で終わりとなります。見どころ満載なウォークです。まずは回向院へ向かいます。ここは明暦の大火(1657年)の犠牲者を供養するため建立され、「諸宗山無縁寺」と呼ばれています。鼠小僧の墓もあり、パワースポットです。隅田川リバーサイドの護岸壁には色々なアートがあります。

次の目的地、森下文化センターには日本の漫画史において重要な位置を占める「のらくろ」の生みの親である田河水泡のゆかりのこの地で、のらくろ館が併設されています。深川江戸資料館では江戸時代の庶民の暮らしを垣間見ることができます。



清澄庭園は江戸時代の豪商、紀伊屋文左衛門の屋敷跡とも伝えられ、後に岩崎弥太郎が買い取り、明治を代表する庭園として完成させました。

回遊式林泉庭園で全国各地から集められた名石が配置されています。花菖蒲の見頃は5月下旬から6月上旬とのことです。

池には多くの野鳥がおり、中には殆ど動かないのでオブジェかと思う野鳥もいます。それがアオサギです。田んぼの守神、長寿の象徴、恋愛結婚運のアップの象徴、忍耐力や自立のシンボルとして貴重な存在のようです。ぜひ探してみてください。

この後富岡八幡宮、深川不動堂、深川公園と続きます。
(文：田中 裕子)

第204 回定例ウォーク

DNP 市ヶ谷の杜&靖国神社・遊就館見学

開催日時 2026年6月13日(土) 午前9時30分集合

集合場所 JR・東京メトロ 四ツ谷駅 麴町口駅前広場

解散場所 JR・東京メトロ 東京駅 午後1時30分頃

歩行距離 約9km

歩行コース JR 四ツ谷駅前広場/スタート～外濠公園～市ヶ谷駅～市ヶ谷見附～DNP「市谷の杜 本と活字館」(見学、WC)～新見附橋～靖国神社・遊就館(WC)～田安門～北の丸公園(昼食)～北桔橋門～皇居東御苑～大手門～和田倉噴水公園～行幸通り～東京駅(ゴール)

*今回のウォークは昔の足跡を辿る見学ツアーです。四ツ谷駅から外濠公園を通り、市ヶ谷駅の濠を渡り、歩を進めると大日本印刷の敷地の中に「市谷の杜 本と活字館」が現れます。

大日本印刷は1876年(明治9年)に銀座で活版印刷を始めた秀英社(勝海舟が命名)が前身です。市谷の工場は1990年代まで雑誌や書籍の一大製造拠点でした。工場移転に伴う再開発で、シンボルの時計台を残し修復・復元

し「市谷の杜 本と活字館」としたそうです。テーマは、印刷の原点である活版印刷と本づくり。見て、学んで、体験できるリアルファクトリーを楽しんでください。

靖国神社は明治2年(1869年)6月29日に建てられた「招魂社」に遡ります。当時の日本は歴史的な大変革(明治維新)の過程にあり、近代国家建設のために尽力した多くの同志の尊い命が失われる結果となりました。国家のために一命を捧げられたこれら人々の霊を慰め後世に伝えようと、明治天皇が東京九段のこの地に創建され、明治12年(1879年)6月4日に『靖国神社』と改称され、現在に至っています。

境内にある遊就館は明治15年(1882年)に開館しました。館名「遊就」は高潔な人物に交わり学ぶ、という意味で、10万点に及ぶ収蔵品のなかには、絵画・美術品、武具甲冑、武器類なども数多く展示されています。今回は時間の関係で1階ホールのみのお見学と致します。

北の丸公園は1969年に昭和天皇の還暦を記念して開園しました。武道館横を通り、北の丸休憩所周辺広場で昼食休憩とします。

皇居東御苑はいつもインバウンド客で賑わっていますが、北桔橋門から入り散策しながら、大手門を出て和田倉噴水公園へ。この後ゴールの東京駅に向かいます。

皆さま アナログ時代を思い出すウォークに是非ご参加ください。

(文：山本 喬)

総会ウォークと2026年度通常総会

開催日時 2026年6月27日(土) 午前9時集合

集合場所 西武新宿線 花小金井駅 南口駅前広場

解散場所 西久保コミュニティセンター

歩行距離 約6km

歩行コース 花小金井南口～保谷狭山自転車道(歩道部分)～見晴らしの良い土手～小金井公園(休憩)～梶野橋～玉川上水側道～くぬぎ橋～サンバリエ～仙川親水公園～古瀬公園～境山野緑地～桜橋～玉川上水側道～西久保公園～目的地・西久保コミュニティセンター(総会)

*2025年度も無事に終わり2026年度が始まりました。毎年のご案内であります。25年度の総括と来る26年度の方向をお示しする定時総会を開催いたします。

初めにウォークのご案内です。私たちは歩く会ですので総会も歩行の後に開催いたします。

小平市の花小金井駅に集合していただきます。ここは東京都水道管が埋設されている通称水道道路と呼ばれている道路のすぐ近くで、道路は自転車道と歩行道が整備されとても歩きやすくなっています。

目的地に向かって歩き始めると、しばらくして突然視界が開け、気持ちの良い場所を通ります。ちなみに会員に関係のある上向台小学校が見えます。ここは水道管保護のため盛り土をした場所になります。ここから小金



井公園に入り、緑のシャワーを楽しみながら玉川上水側道に入ります。

さらに歩を進めるとサンバリエと称する建物群にはいり、仙川親水公園を抜けます。初代理事長の鹿子木さんはここに住まっておられました。

次に茶室松露庵を擁する古瀬公園を横に見て境山野緑地に入ります。ここは20年ほど前に東京都青年の家がありましたが閉所の後公園になったところ。南側半分は古くから「独歩の森」として親しまれています。

再び玉川上水側道に戻り西久保公園を通過すると目的地の西久保コミュニティセンターに到着いたします。

到着後ただちに2026年度総会を開催し、終了後懇談会を開催いたします。

(文：近藤 和義)

例会ウォーク実施報告

2025年12月20日(土)

第200回定例ウォーク

芦花公園から烏山寺町散策と吉祥寺忘年ウォーク

2025年最後のウォーキングは、芦花公園から烏山寺町を散策し吉祥寺の忘年会場迄の6kmのコースでした。参加者は45名(会員40名、他協会員1名、一般4名)。

当日は、小雨がぱらつき、次第に雨足が強くなってきたので、予定通りに歩けるか心配でしたが、蘆花記念館に辿り着き、ここで文豪徳富蘆花の遺品やベストセラー「不如帰」の資料を見学している間に運良く雨が上がり、予定通りに次の目的地に向かう事ができてホッとしました。

芦花公園には蘆花自身が手植えた竹林はじめ様々な木が植えられ、赤や黄色・朱色に色づいた幻想的な景色に心癒されました。四季折々の自然が楽しめるこの公園に又足を運ぼうと思ったのは私だけではないと思います。

芦花公園を後にした私達は、千歳烏山駅を通り、高架下の区民集会所で休憩後、烏山寺町通りを散策しました。ここは関東大震災後、浅草・築地・本所・荒川にあった寺院が集団で移転してきた地で、26もの仏教寺院が軒を連ね「世田谷の小京都」とも呼ばれる落ち着いた雰囲気の良い場所でした。

今回は、大河ドラマ「べらぼう」でより身近に感じられるようになった「浮世絵師北川歌麿」のお墓がある『靈照山専光寺』と世田谷百景に指定されている『瑞泉山 高源院』の二か所に立ち寄りしました。

『靈照山 専光寺』の北川歌麿のお墓の横にはオレンジ色のクチナシの実がとってもきれいに輝いていました。いつも歩きながら俳句をしたためている高橋さんがこの日も俳句を書いておられたので、許可を得て一句載せさせていただきます。

『クチナシに 包まれ眠る 歌麿か』

クチナシの花言葉は『とても幸せ』です。そして、その実の姿には『努力が実を結ぶ』という静かな祝福の物語が宿っていて、お祝いの席では実一粒の輝きが暖かな吉兆を運んでくると喜ばれているそうです。



次の『高源院』では、湧水が涸れることのない「弁天池」を見学し、久我山駅で一時解散。その後、電車組と歩き組に分かれて忘年会場「天狗」に向かいました。

そして34名参加の楽しい忘年会で今年のウォーキングを締めくくらせて頂きました。1年間ご協力有難うございました。来年も楽しく歩けます様に宜しく願い致します。

(理事：橋本 彩子)

2026年1月4日(日)

第201回定例ウォーク

新春 荏原七福神めぐり

七福神の寺や神社は昔からの信仰で像や御神体を持っていた寺社が地域の話し合い、回りやすさ、距離で地域ごとに決まったようで、1月4日快晴の朝西小山駅に集合61名の参加者で荏原七福神に出発。

西小山の駅から立ち合い通りを環状7号線に向け歩きました。

この通りは春には両側に桜並木が昭和医大まで約1キロ続き、地元の人たちの憩いの場所で暫く歩いた。

小高い所に最初の小山八幡神社(大黒天)があり七福神の中で一番高い所にあり遠望が楽しめました。

数メートル離れた所に摩耶寺(寿老人)があり、摩耶夫人立像が品川区の文化財になっております。ここでは甘酒が振舞われ皆さん楽しんでいました。

その後昭和医大を右手に見て環七を渡り3番目の法蓮寺(恵比寿天)に到着。ここは750年くらいの歴史を持つ古刹であり、昔荏原氏の館の跡地に建てたものです。

法蓮寺をあとにし大井町線の踏み切りを渡り、第二京浜国道を渡ると直ぐに天祖神社(蛇窪神社)弁財天です。此処には白蛇がおり実際に白蛇がまつられています。品川区で1番賑う神社で昨年は蛇年でもあり、5時間待ちもザラでした。案の定今回も1時間待ちで神社でのお参りは諦め、門前までのご挨拶となりました。

5番目は養玉院如来寺(布袋尊)です。此処には高さ3メートルの五智如来像が五体あり大井の大仏として江戸時代より人気がありました。



その後坂を登り伊藤博文の墓を見学し、横須賀線を渡り西大井広場で休憩。ニコンの新社屋を右手に見て大井町に向かった。

6番目は非常に珍しいトイレの神様で東光寺(毘沙門天)に到着。トイレの神様は烏沙摩明王と呼ぶそうで殆どの方が初耳のようでした。

その後、最後の大井蔵王権現(福祿寿)に向かった。ここはビルの谷間にあり間口の狭い神社ですが創立は986年頃で、非常に古い神社です。建物の中に天狗の面が有りますが昔村人が困ったときに天狗が助けてくれたのでお面が飾られているそうです。

これで七福神巡りは無事に終了、阪急前で解散となりました。

(監事：保科 勝彦)

*当会に多大なる尽力をいただきました保科勝彦さんが、令和8年1月9日 82歳で逝去されました。

これが最後の実施報告書となりますが、いつも明るい笑顔でどなたにも声掛けくださった人柄は、我々会員の胸にいつまでも残ることでしょう。

心よりご冥福をお祈りいたします。

合掌

2026年2月28日(土)

第4回シリーズウォーク

豪徳寺と羽根木公園の梅まつり

2/28 豪徳寺駅前広場に集合された方は会員48名、他協会5名、一般12名、総勢65名でした。とても多くの方のご参加を頂きありがとうございました。

4月の陽気で、家を出た時の曇り空とは違う青空の下のウォーキングでした。

豪徳寺は彦根藩主・井伊家の江戸における菩提寺であるだけでなく、昨今は「招き猫」の発祥地であることでその「招き猫」を目当てに沢山の外国人が来られておりSNSの影響力を目の当たりにすることとなりました。

これまでのウォークでも度々「〇〇緑道」を歩いてきましたが、今回も又「烏山川緑道」を通り緑道の両脇の手入れが行き届いていることに地元ボランティアの方々の気持ちが伝わってきます。

この後羽根木公園へ向かいます。ウォークするメンバーのなかには近くに居られた少年らに元気に声をかけられている姿がとても自然で、また少年たちも呼応してくれる光景は微笑ましいものでした。声掛けってとても大切なことだと思いました。

羽根木公園では梅まつりが開催されており大勢の方が思い思いにその雰囲気を楽しまれました。私たちもその催し(世田谷区役所土木部豪対策課)に参加させて頂き雨水に関するミニ知識を頂きました。又、参加賞で世田谷区の布製のトートバックまで頂きました。



足を止めて咲き誇る梅を見たのはもうゴール間近の所でした。皆さん花を見上げて写真を撮っていらっしゃいました。今日のウォークはここまでです。皆様お疲れさまでした。

(理事：田中 裕子)

2026年3月14日(土)

第202回定例ウォーク

中山法華経寺から荷風の散歩道を歩く

今回の定例ウォークは、日蓮宗の総本山、中山法華経寺から永井荷風が終の棲家とした、市川の街を辿るウォークでした。

数日前には雪が降る等、気まぐれ天気を心配したが、冷たい北風もウォーク日和と思い、集合場所の下総中山駅に向かった。

集合時間9時30分には41名(会員35名・一般6名)の参加者が集まった。

駅前の道を進み京成中山駅を過ぎると中山法華経寺の参道、黒門(総門)から赤門(仁王門)をくぐる。小彼岸桜が咲き誇る石畳の左右に支院が並び、境内に到着・広大な敷地では、五重塔、四足門、法華堂と、多くの重要文化財を観ることが出来ました。その後、若宮奥の院を参拝。

葛飾八幡宮の昼食迄の小1時間は住宅街、京成本線の線路側を黙々と歩いた。素敵な建物の市川市役所で運良く、トイレ、小休止ができて元気が回復した。



昼食後、葛飾八幡宮を参拝、国指定天然記念物の千本銀杏の木を皆で見上りました。

12月の下見の時にはパンフレットの写真にある黄色に染める見事な千本銀杏を見ることが出来ました。是非その時期に訪れてみては如何ですか。

その後、荷風散歩道を目指すも道に迷い、皆さんの手助けで無事たどり着き商店街を進み最後の白幡天神社へ。ここでIVV配布、ゴールの本八幡駅に向かいました。

朝の北風の寒さも心地良い風にかわり、ウォーク日和となりました。皆様お疲れさまでした。

(理事：山本 喬)

ホームページ情報

[1]5月度例会案内を3月末に掲載します

[2]会報第69号を4月初旬に掲載します

[3]ギャラリーを4月初旬に掲載いたします

※例会ウォークの中止・変更等につきましては、インフォメーション欄に逐次掲載してまいります。

会員ニュース

2026年3月24日現在、入会された新たな仲間をご紹介します。(敬称略)

小金井市 354 岡部 洋子

杉並区 355 高木 純子^{すみこ}